

道徳学習指導案

指導者 田口 沙弓

- 1 日 時 平成 29 年 6 月 1 6 日 (金) 5 校時 1 3 : 4 5 ~ 1 4 : 3 0
- 2 学年・組 第 3 学年 花組
- 3 主 題 名 みんなで使う物 (内容項目 勤労、公共の精神 1 4 (C))
- 4 資 料 名 水飲み場 (文溪堂)
- 5 ね ら い ひろこが水飲み場をきれいにしているのを見ている、よしおの気持ちを考えることを通して、働くことの大切さに気付き、進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

よりよい社会を実現するためには、誰もが他人に迷惑を掛けず、約束や決まりを守り、公共物を大事にすることが大切である。一人一人がルールを守ること、みんなが気持ちよく生活できる。また、「守る」だけでなく積極的に社会の為に役立とうとする意識を持つことで自分自身が気持ちよく生活できる。

中学年においては、みんなのために働くことで楽しさや喜びを味わうことがある一方で、働くことを負担に感じたり、面倒に思ったりする様子も見られる。

指導に当たっては、特に身の回りの生活の中で、集団の一員としてできることについて考え、自分ができる仕事を見付けたり、集団生活の向上につながる活動に参加したりして、みんなのために働こうとする意欲や態度を育むことが大切だと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は何事にも前向きで自分から進んで取り組むことができ、学校で使う物や場所は、「大事につかわなくてはいけない」ということもほとんどの児童が理解はしている。しかし、頭ではわかっているが普段の生活の中で、言われないと実行することができない児童もいる。

掃除の時間では、棚などを移動させて隅々まで掃除をする姿も見られるが、汚れている場所をさけて掃除をしたり、給食の配膳台の片付けも、綺麗なところだけを拭いたりする姿が見られる。また、教師から声を掛けられると掃除をするが、自分から汚れていることに気付いても、汚いから触りたくないと思い、見て見ぬふりをする児童もいる。

そこで、本資料の学習を通して、自分のことだけ考えて行動するのではなく、みんなのために進んで行動する大切さに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

(3) 資料について

水飲み場が汚れていて水が飲めないよしおは教室へ戻ろうとする。そこへひろ子が通りかかり、自分が汚したわけでもない水飲み場をきれいに始めた。水飲み場が汚れていて水が飲めず、いらだっていたよしおが、ひろ子のさわやかな行動によって自分のすべきことに気付く。やがて、ひろ子がきれいにした水飲み場で二人は水を飲み、さわやかな気持ちになるという資料である。

ひろ子の行為で、よしおの気持ちが大きく変化したことを通して、自分が汚したのではなくても、自分たちが使う水飲み場は自分たちできれいにすることや、みんなのために行動することの気持ちよさに気付かせたい。

7 教科・領域との関係

- ・学級活動「守れているかな、学校の決まり」
- ・学級活動「学級の決まりを作ろう」

8 考えを深め合う授業の工夫

- ・道徳ノートを活用し、一人一人が自分の考えを持てるようにする。
- ・中心発問で、補助発問をしたり、中心人物から助言者へ視点を変えて考えたりすることで、児童の心を揺さぶり道徳的価値を深めさせる。

9 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童生徒の反応	教師の働きかけ	資料・評価等
導入	1 写真を見ながら、みんなで使う場所や物について話し合う。	一斉	この写真を見てどう思いますか。 ・いやだ。だから、片付けたい。 ・何とも思わない。 ・汚いけど、片付けるのも嫌だ。	・2枚の写真を見せて感想を交流する。	・トイレや教室の落ちている物の写真
展開	2 水飲み場を読んで話し合う。 (1)水を飲もうとして顔をしかめたよしおの気持ちを考える。	一斉	水を飲もうとして顔をしかめたよしおは、どんな気持ちだったでしょう。 ・汚くて、使いたくない。 ・汚した人が掃除をしてくれたらいいのに。 ・ほかのところで水を飲もう。 ・困ったな、水を飲むことができない。	・水飲み場が汚れているのは、自分には関係ないというよしおの気持ちに共感させる。	・発問カード ・挿絵
	(2)ひろこさんが水飲み場をきれいに見ているのを見て、よしおの気持ちを考える。	個別ペア一斉	ひろこが水飲み場をきれいに見ているのを見て、よしおはどんな気持ちだったでしょう。 ・掃除をしてくれて、ありがとう。 ・ひろこさんは、汚いと思わないのかな。 ・自分が汚したのではないのに、偉いな。 ・さっきまでの自分が恥ずかしいな。 ・次からは、ぼくも掃除をしよう。	・水飲み場を汚した人を非難して、自分は何もしなかったよしおの身勝手さに気付かせる。 補「ひろこさんは、どんな気持ちで掃除をはじめたでしょう。」 ・ひろこさんの行動でよしおの気持ちがさわやかになったことに気付かせる。	・道徳ノート ※みんなのために進んで行動する大切さに気付くことができたか。 〈道徳ノート〉
終末	5、振り返り	個別一斉	今日の勉強で分かったことや思ったことを道徳ノートに書きましょう。		※実践への“ちょっとした決意”を持たせる。 〈道徳ノート〉

10 評価の視点

(1) ねらいに関して

- ・ひろこが水飲み場をきれいにしているのを見て、よしおの気持ちを考えることを通して、働くことの大切さに気づき、進んでみんなのために働こうとする気持ちをもつことができたか。

(2) 授業の工夫に関して

- ・道徳ノートを活用し、一人一人が自分の考えを持てるようにする。
- ・中心発問で、補助発問をしたり、中心人物から助言者へ視点を変えて考えたりすることで、児童の心を揺さぶり道徳的価値を深めさせる。

11 板書計画

